

WEEKLY REPORT

SAGA YAMATO ROTARY CLUB

国際ロータリー第2740地区 第1グループ

第1093回例会

2016～2017 年度国際ロータリーのテーマ



RI 会長

ジョン F ・ジャーム(CHATTNOOGA-RC)
 第2740地区ガバナー
 崎永 剛 (長崎北 RC)

プログラム

2017年5月9日 (火)

- ① 開会点鐘
- ② 開会の辞
- ③ ロータリーソング
「我等の生業」
- ④ 四つのテスト
- ⑤ 来訪者紹介
- ⑥ 会長の時間
会 食
- ⑦ 幹事報告
- ⑧ 委員会報告
- ⑨ ロータリーの友の活用
- ⑩ 出席報告、ニコニコ BOX 報告
- ⑪ 閉会点鐘

MEMO

※次回例会

◇5月13日(土) 18:30～博多・屋形船

創 立 1994/2/22
 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
 会場 ホテル龍登園 0952-62-3111
 第4火曜日 18:30～19:30
 会場 炭火焼丸美屋 0952-20-7770

会 長 浦川容伸 幹 事 松永光司
 会報委員 川浪正大 古藤俊隆
 事務局 佐賀市大和町大字東山田 1857-13
 TEL・FAX 0952-37-9180
 E-mail yamatorc358@juno.ocn.ne.jp

会長の時間

浦川会長

4月に入り任期も残すところ3ヶ月となり、自然と目尻に皺が増えてきました。

3月4月は人との出会いと別れの季節です。中学生の娘の話ですが、中学校柔道部の顧問の先生が二人(来年定年になられるベテランの先生と若い先生)いらして、転任される若い先生の送別会で、娘がお別れの言葉に(自分の卒業と同時に二人ともいらっしやらないので)「来年卒業したら中学校に誰を訪ねていけば良いのだろうと思うと、とても寂しい気持ちになります。」と涙ながらに話したそうです。知らぬ間に?娘の成長に感慨深いものがありました。

来訪者紹介

圓佛洋右 様 (大牟田 RC)

幹事報告

1. 牛津RC40周年記念式典
5月27日(土) 16:00開会
マリトピア
2. ライラ
5月27日(土)~28日(日)
13:00開講式
黒髪少年自然の家

出席報告

| | | |
|----------------|----------------|--------|
| 4月11日/メイクアップ0名 | 26名中18名 (免除0名) | 65.38% |
| 4月15日/メイクアップ0名 | 25名中11名 (免除1名) | 44.00% |
| 4月25日/メイクアップ0名 | 25名中16名 (免除1名) | 64.00% |

行事予定

| 月 日 | 行 事 | 会 場 |
|----------|----------|--------|
| 5月13日(土) | 親睦旅行 | 博多・屋形船 |
| 5月16日(火) | 振替休会 | ... |
| 5月23日(火) | 1095回例会 | 龍登園 |
| 5月27日(土) | 牛津RC40周年 | マリトピア |
| 5月30日(火) | 振替休会 | ... |
| 6月06日(火) | 1097回例会 | 龍登園 |
| 6月11日(日) | 国際交流会 | 龍登園 |
| 6月20日(火) | 1099回例会 | 龍登園 |
| 6月27日(火) | 交代会 | 未定 |

地区大会

とき 4月15日(土)
ところ 長崎ブリックホール

=表彰=
『会員増強優秀クラブ』



会員卓話



川浪正大 会員

『ITの変遷』

我々の入社した当時は主にガソリンスタンドの請求書、給与計算、財務会計等のプログラムを作っていた。パソコンが無くメモリーが小さくて、大きなプログラムは1つに収まりきらず分割して作っていました。変化が激しくなったのは1990年頃、ネットワークが発達しマイクロソフトが主流になった頃Windows3.1の発表会に出かけた時に驚きと時代の変化を感じました。最近はクラウド(サーバーの場所や構成が自由)やIOTというのを聞かれます。我々が作っていたのはアプリケーションの世界でしたが、IOTはネットワークとモノを連動させるというものです。北九州の病院ではペッパー君(ソフトバンク)が診療窓口へ案内をしてくれます。コンピューターのAI(人工知能)が出てきたらどうなるんだろう?クラウドでビックデータを集めて(過去の病気、症状)瞬時に出す。ドクターが非常に楽になるし、ある意味不要になるかもしれない。AIで無くなる仕事が多数出てくると思う。人材の育成を含め、投資的なものもあるので、アプリの世界からなかなか抜け出しきれず悩んでいるところです。経営資源が、人、物、金から、人、データ、機械に代わっていくと言われている。意思決定以外はAIがサポートしてくれる。人と機械をどうマネジメントとするかが今後の課題である。